PART2 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊

Chapter1　世界恐慌とその影響

目標
世界恐慌が起こった最大の理由をおさえよう。
世界恐慌を克服する施策の一つと，それができた国の特徴を知ろう。

1 世界恐慌

①［　　　　］**恐慌**（1929年10月24日「**暗黒の木曜日**」～）

A ［　　　　　　　　　　］**株式市場〔ウォール街〕**の大暴落

B アメリカ資本が引き揚げられたヨーロッパ諸国にも波及

C アメリカを生糸の輸出先，機械類などの輸入先としていた日本にも波及

D **フーヴァー大統領（共和党）**の**フーヴァー＝モラトリアム**は効果なし（1931年）

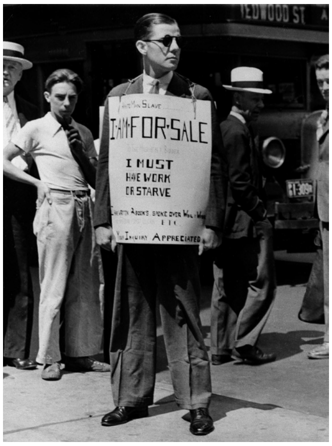
②世界恐慌の背景

A アメリカ

［　　　　　　　］・農業不況・**国民の購買力低下**・過剰な投機ブームなど

B 世界

ヨーロッパの戦後復興・保護貿易の傾向・植民地の工業化・ソ連成立による市場縮小



立ち尽くす失業者

2 世界恐慌の影響と対処

①アメリカ→〔　　　　〕＝ブロック

A　**フランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）**の登場（1933年）

B　〔　　　　　　　　　　　　〕〔新規まき直し〕政策

あ　金本位制の離脱→ 1933年のロンドンにおける世界経済会議でも復帰を拒否

い　〔　　　　〕**調整法**〔ＡＡＡ〕・**全国産業復興法**〔ＮＩＲＡ〕

う　〔　　　　　　　　　　〕**流域開発公社**〔ＴＶＡ〕

C　〔　　　　〕**外交**

ソ連を承認・〔　　　　　　　　〕**の独立を承認**しドル経済圏に組み入れる

D　**ワグナー法**〔全国労働関係法〕（1935年）→労働者の団結権・団体交渉権を認める

E　**産業別組織会議**〔ＣＩＯ〕の成立（1938年）

②イギリス→〔　　　　　　　　　　　〕＝ブロック〔ポンド＝ブロック〕

A　**マクドナルド**〔　　　　　　　　〕**内閣**が金本位制を停止（1931年）

B　**オタワ連邦会議**でスターリング＝ブロックを結成（1932年）

③フランス→〔　　　　　　〕＝ブロック

A　植民地経済会議でフラン＝ブロックを形成（1934年）

B　**仏ソ相互援助条約**（1935年）

C　**ブルム**〔　　　　　　　　〕**内閣**（1936年，社会党・急進社会党・共産党）

④〔　　　　　　　　　　　　〕圏の形成

植民地・占領地などを「持てる国」である，米・英・仏の世界恐慌からの共通脱出策。

まとめ　世界恐慌が起こった最大の理由は，アメリカの生産過剰だった。
植民地を「持てる国」は，保護貿易策であるブロック経済圏を形成することで，世界恐慌から脱しようとした。

Chapter2　ヴェルサイユ体制の破壊

目標
ナチ党やヒトラーが初期に目指したものをおさえよう。
ヒトラーが参考にした指導者と組織をおさえよう。

1　ナチス＝ドイツの成立

①〔　　　　〕**党**〔国民社会主義ドイツ労働者党〕の台頭→構成員が「〔　　　　　　〕」

A　**ヴェルサイユ条約破棄**による**ヴェルサイユ体制破壊**を目指す

B　植民地の再分配を要求→「持てる国」のブロック経済政策を批判

C　〔　　　　　　　　〕**排斥**などの人種差別主義

D　民族共同体建設による国民生活の安定

E　**大衆宣伝〔プロパガンダ〕**を多用→1932年の選挙で第一党となる

②独裁者〔　　　　　　　　〕の登場→「第三帝国」

A　**首相**に任命され組閣，国会議事堂放火事件を利用し左翼勢力を弾圧（1933年）

B　〔　　　　　　　　　　〕により国会の立法権を政府に移す（1933年）

C　ナチ党以外の政党や労働組合を解散させ**一党独裁**を実現

D　秘密警察〔ゲシュタポ〕・親衛隊〔ＳＳ〕・突撃隊〔ＳＡ〕を駆使

E　社会主義者・民主主義者・ユダヤ人などを**強制収容所**送りに。一部は外国に亡命

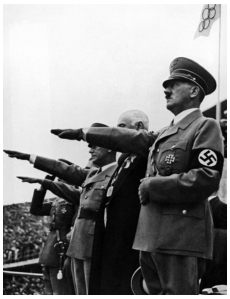
あ　文学者トーマス＝マンはアメリカに亡命

い　科学者アインシュタインもアメリカに亡命

F　ヒンデンブルク大統領死去後は大統領の権限も合わせ**総統**となる（1934年）

あ　ムッソリーニのイタリア＝ファシズムにならいドイツ＝ナチズムを確立

い　四カ年計画により軍需工業拡張・アウトバーン〔自動車専用道路〕建設



ヒトラー

2　ヴェルサイユ体制の破壊

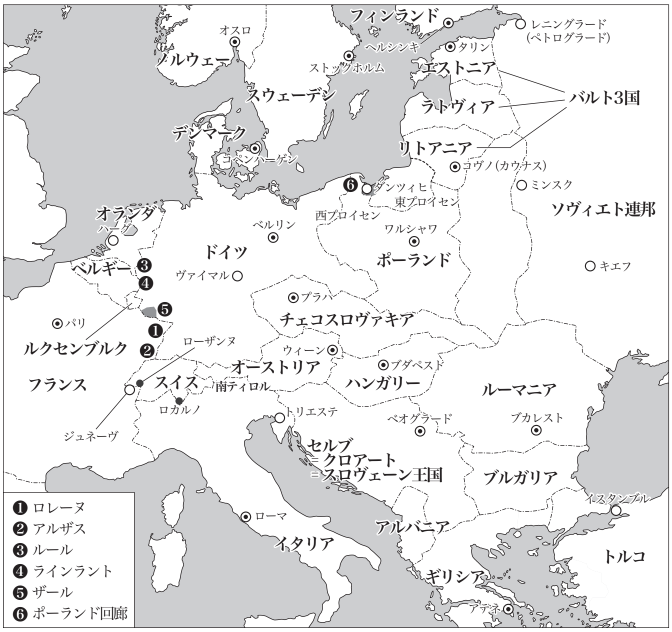
①**ドイツの国際連盟脱退**（1933年）→軍備平等権が認められないことが理由

②住民投票により炭鉱地帯のザール地方を編入（1935年）

③［　　　　　　］**宣言**（1935年）→徴兵制も復活

④［　　　　　　　　　　　　］**進駐**（1936年）

　仏ソ相互援助条約調印を理由にロカルノ条約を破棄



第一次世界大戦後のヨーロッパ

まとめ　ヒトラーのナチ党は，まずはヴェルサイユ体制の破壊を目指した。
ヒトラーが参考にしたのは，イタリアのムッソリーニとファシスト党だった。

第11講　PART2　確認問題

1　1931年に賠償・戦債支払いの 1年間停止を宣言したアメリカ大統領はだれか。

①　ハーディング　②　クーリッジ
③　ウィルソン　④　フーヴァー

2　アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領が打ち出した**政策でないもの**はどれか。

①　農業調整法　②　テネシー川流域開発公社
③　ワグナー法　④　タフト・ハートレー法

3　アメリカで，1935年に成立した全国労働関係法の別名はどれか。

①　AAA　②　TVA
③　NIRA　④　ワグナー法

4　イギリスでスターリング＝ブロック〔ポンド＝ブロック〕を形成した首相はだれか。

①　マクドナルド　②　ロイド＝ジョージ
③　ブルム　④　シュトレーゼマン

5　イギリスのマクドナルド首相が開催した会議はどれか。

①　植民地経済会議　②　バンドン会議
③　オタワ連邦会議　④　ローザンヌ会議

6 フランスで1936年に成立した人民戦線内閣の首相はだれか。

① クレマンソー　② ブルム
③ マクドナルド　④ ブリアン

7 ナチ党が多用した大衆宣伝のことを何というか。

① プロパガンダ　② フューラー
③ ゲシュタポ　④ ホロコースト

8 ナチ党の一党独裁体制と関係するできごとのうち，最後に起こったものはどれか。

① 全権委任法の成立　② 国会議事堂放火事件
③ ヒトラーの総統就任　④ ナチ党以外の政党の解散

9 ドイツが軍隊を進駐させた非武装地帯はどこか。

① エチオピア　② ラインラント
③ ザール　④ ストレーザ

10 ドイツがロカルノ条約を破棄して1936年に行ったことはどれか。

① ラインラント進駐　② 国際連盟脱退
③ 再軍備宣言　④ ザール地方編入

第 11 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④　世界恐慌で大打撃を受けたドイツの金融恐慌防止等が目的だったが，効果はなかった。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：1920 年代のアメリカ経済繁栄期の大統領。
③：国際連盟の設立を提唱した大統領。

2 解答：④　1947 年に制定された，労働運動を制限した法律。

①：農作物の生産制限により，農産物価格の引き上げを図った。
②：ダムの建設と発電，植林などを進め，雇用促進を図った。
③：労働者の団結権などを認め，労働組合の結成を促した。

3 解答：④　ワグナー法〔全国労働関係法〕は労働者の団結権・団体交渉権を認めた法律。

①：農業調整法のこと。
②：テネシー川流域開発公社のこと。
③：全国産業復興法のこと。

4 解答：①　スターリング＝ブロックとは，イギリスを中心としたポンドを基軸通貨とするブロック経済。

②：1916 ～ 22 年のイギリスの挙国一致連立内閣の首相。
③：フランスの首相。
④：1920 年代，国際協調外交を推進したドイツの首相・外相。

5 解答：③

世界恐慌に対処するため，イギリス内における特恵関税協定を結び，ブロック経済圏を形成した。

①：フランスが世界恐慌に対処するために開催した会議。
②：1955 年，第二次世界大戦後に独立したアジア・アフリカ諸国が開催した国際会議。
④：1932 年，ドイツの賠償問題と英仏の対米戦債問題について開催された国際会議。

6 解答：②

ブルム人民戦線内閣は有給休暇制や教育改革などに取り組んだ。

①：パリ講和会議を主導したフランスの首相。
③：イギリスでスターリング = ブロックを形成した首相。
④：1920 年代の国際協調外交を主導したフランスの外相。

7 解答：①

ナチ党は大衆宣伝〔プロパガンダ〕の多用により，1932 年の選挙で第一党となった。

②：総統のこと。
③：ナチス = ドイツの秘密警察のこと。
④：ナチス = ドイツによるユダヤ人虐殺のこと。

8 解答：③

1933 年に首相に任命されたヒトラーは，ヒンデンブルク大統領死去後の 1934 年，大統領の権限も合わせ総統となった。

①：1933 年のできごと。
②：1933 年のできごと。
④：1933 年のできごと。

9 **解答：②**　ラインラントはヴェルサイユ条約で非武装地帯と規定され，ロカルノ条約で国境の非武装が再確認されていたため，イギリスやフランスなどは非難した。

①：イタリアが侵攻した。
③：ドイツが住民投票により編入した。
④：ナチス＝ドイツの再軍備を警戒して英仏伊三国首脳会議が開かれた都市。

10 **解答：①**　仏ソ相互援助条約調印を理由にロカルノ条約を破棄して進駐した。

②：軍備平等権が認められないことを理由に，1933 年に行った。
③：1935 年に行った。
④：1935 年に行った。